



世界へのプレゼントになろう

週報

2015~2016 年度 RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

RI 第 2730 地区ガバナー 野中 玄雄
鹿児島市内分区ガバナー補佐 内村文泰・日高文治

鹿児島東南ロータリークラブ

会長 飯野 和男 副会長 東 則秋 幹事 中馬敏之

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail info@tounanrc.jp ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第 2238 回

No.5

平成 27 年 08 月 04 日 (火)

本日のプログラム

会員増強フォーラム

8 月 お誕生日おめでとうございます。
上園哲生君 (7 日)・東則秋君 (31 日)

8 月 結婚記念日 おめでとうございます。
上園哲生 (8 日)・東則秋君 (24 日)

第 2237 回例会報告

会長挨拶

会長 飯野 和男
前回元当クラブ 18 代会長永田謙司様の卓話の中でロータリーバッジについての話がありました。バッジ制定の動議はロータリー創立の年、1905 年ですが第 2 回例会においてハリー・ラグラス (印刷業) がバッジを作ったらという話が出て廻りもちだからということで車輪をデザインして見せましたが荷馬車の車のように品がないということだったそうです。1906 年、新人会員のモンタギュー・ベアー (彫版会社社長) に依頼し、幾度も修正があったそうです。しかしクラブが増えるにしたがって会員バッジもクラブ毎にまちまちになり 1910 年第 1 回大会で共通したバッジ制定の要望があり、大会はシカゴクラブの徽章を少し修正してシカゴの文字をインターナショナル・アソシエーション (国際協会) に代えて採択することになりました。そして 1912 年になって金色とロイヤルブルーの色を加え、橡 (つるばみ) に歯車をまわしました。さらに 1920 年アトランティック・シティ国際大会で、現在のものとほぼ同じになり、1923 年セントルイス国際大会において楔 (くさび) がないと車輪が廻らないではないかということで楔を入れました。

た。それから 1929 年に至り、現在のものと同じく、6 本の軸、24 の歯車、1 つの楔穴、金色とロイヤルブルーの色に確定しました。即ち 1929 年 5 月 27 日~31 日テキサス州ダラスにおける第 20 回国際大会で採決されました。バッジ、標章の取り扱いについては手続要覧 11 頁にわたり詳しく掲載してあります。ちなみに旗は 1914 年に制定されています。

会務報告

●8 月 25 日 (火) は、野中ガバナー公式訪問となっております。

公式訪問プログラム

11:00~11:40 会長、会長エレクト、幹事、懇談会

11:50~12:20 入会 3 年未満の会員、女性会員、会員の配偶者との懇談会

12:30~13:30 例会

13:50~14:50 クラブフォーラム「奉仕は力! 活かそう例会」のなかで「クラブ自慢の発表」を渡海谷会員、中馬幹事。「どうすれば出席率アップ」を林会員にお願いしてございます。よろしくお祈りいたします。

●8月11日(火)は定款休会となっております。

●前年度田中ガバナー年度の最終月信を配布しております。

出席報告

会員数	25名	前々回出席者	15名
出席免除	1名	メイクアップ	3名
出席会員	15名	出席訂正率	78.26%
出席率	62.5%		

スマイル報告

☆上園哲生君-災害対策に追われて例会出席がかなわず申し訳ありませんでした。飯野会長、中馬幹事の年度が素晴らしい年度となります様お祈り致します。

☆柿元敬一君-①この度息子が久しぶりに帰鹿して一緒にのみました。トヨタL&Fカンパニーの技術グループ長になり頑張っていることを知り本当に嬉しかった。ニコニコします。②先日足元の悪い中、飯野和男会長はじめ大勢の仲間が私の祝いに参加して頂きまして感謝しております。本当に有難うございました。

☆川崎良明様-誕生祝のぶどうありがとうございます。

本日計 6,000円 累計 40,000円

米山奨学会寄付 感謝状授与



平塚会員へ感謝状授与

本日のプログラム 「委員会活動計画」



ロータリー情報・研修小委員会 上園委員長



青少年奉仕・ローターアクト小委員会
渡海谷委員長



広報委員会 馬場委員長



ロータリー財団委員会、米山記念奨学会
野井倉委員長



SAA 林委員長

理事会報告

1、出席者（敬称略）：飯野、井料、中馬、野井倉、山田、渡海谷

2、プログラムについて

8/4 会員増強フォーラム

8/11 定款休会

8/18 ガバナー補佐訪問

理事会 12：00～

8/25 ガバナー公式訪問

9/1 献血啓発活動（9/12-13）準備

9/8 外部卓話

FMかごしま常務取締役営業部長 堂脇 悟 様

9/15 9/12（土）への献血啓発活動へ振替

9/22 祝日休会 国民の休日

9/29 親月家族例会（場所／未定）

理事会 12：00～

3、2014-15年度決算について

全員一致で主承認

4、2014-15年度、15-16年度、16-17年度の会長・幹事合同ミーティングについて

事業計画策定に向けて17-18年度の会長・幹事にも参加していただく（渡海谷会員）。

5、9月12日（土）～13日（日）FMかごしまイベント協賛に伴う献血啓発活動について

① 7月29日、FM鹿児島を担当者と打合せ予定。

② アクト、ライラに参加した研修生、Eクラブ等に文書で参加要請。

③ 景品等の準備

④ 当日景品の当たった方に短いコメントをもらいその様子をビデオ撮影する。（後日、大石会員に編集してもらう。）

6、その他

① 年間プログラムは卓話の順番を1つずつずらす。

② 9/1は青少年奉仕フォーラムを止めて、アミュの献血イベントの事前打合せ、準備に変更する。

いつもより30分早い12時から例会スタート。

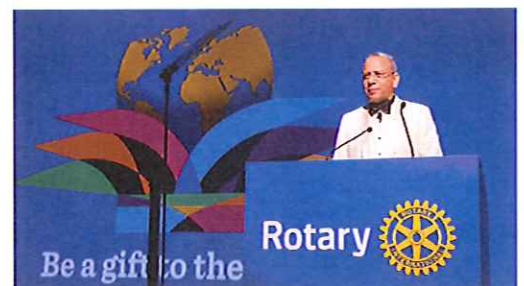
③ 会員証（身分証明書）を作成し、会費納入者に渡す。

国際ロータリーHPより

ロータリーには社会貢献のチャンスがいっぱい

1.新しい会員特典プログラム「ロータリー グローバル

リワード」について学ぶ。旅行、ホテル、レンタカー、レストラン、エンターテイメントなど、会員だけが利用できるサービスや特典があります。2.地域社会のニーズを調べてクラブ全員で参加型の奉仕プロジェクトを立案、実施する。3.奉仕プロジェクトに活用できる補助金の申請方法をウェブサイト（www.rotary.org/ja/grants）で調べる。4.身近にいる青少年や若者に、インターアクト、ローターアクト、RYLA（ロータリー青少年指導力養成プログラム）、青少年交換を紹介する。5.他クラブの例会でメイクアップする。会員なら、世界中どこのクラブ例会でも出席が歓迎されます。旅行や出張の際は、ロータリーウェブサイト（Rotary.org）のクラブ検索をご利用ください。クラブ検索の携帯アプリもダウンロードできます。6.新しい役割に挑戦する。クラブでリーダーシップを発揮するために、自分に何ができるかを調べてみましょう。7.韓国ソウルで開かれる2016年ロータリー国際大会に出席する。世界で活躍するリーダーや著名人によるインスピレーションあふれる講演、さまざまな活動に参加する機会、世界中の会員との交流が楽しめます。ロータリーの本質に触れる究極的な機会、それが国際大会です。8.ポリオ撲滅の歴史の一端を担う。ポリオプラスの支援方法は、www.endpolio.orgをご覧ください。9.ブランドリソースセンターを活用する。心に訴えるデザインやメッセージでコミュニケーションし、協力の輪を広げるためのリソースを活用しましょう。10.ロータリー親睦活動グループやロータリアン行動グループに参加して、同じ関心や情熱を抱く会員のネットワークを広げる。料理愛好家や水・衛生の専門家など、約70のグループがあります。11.ソーシャルメディアでつながる。フェイスブック、ツイッター、リンクトイン、インスタグラム、ピンタレスト、フリッカーなど、さまざまなメディアにロータリーの公式ページがあります。12.ロータリー財団を支援する。財団へのご寄付は、世界中で人道的奉仕プロジェクトを実現する何百万ドルもの補助金を生み出します。



家族を養うために... 識字力向上へのチャレンジ



世界には読み書きができない成人が数百万人おり、このため家族を十分に養う上で困難を抱える人たちが大勢います。教育が進んでいる米国でも、小学3年レベルの読み書きができない成人は3,600万人（非営利組織『ProLiteracy』調べ）。デトロイト市で行われた調査では、17歳以上の人口のうち、日常で必要とされる読み書き、会話、コンピューターのスキルがない人がほぼ半数に上ることが明らかになりました。同市で識字力向上を支援している団体『Reading Works』のプログラムディレクター、クリステン・バーンズ・ホリデーさんによると、地元機関・団体の多くが資金・人材不足に困窮しており、長年の取り組みにもかかわらず改善が遅々として進んでいないそうです。非識字が原因で多くの問題が引き起こされます。識字力の欠如は貧困を生むだけではありません。医薬説明書を読めないために健康リスクが高まり、コンピューター社会の中で取り残され、地域経済の停滞を招きます。何よりも懸念されるのは子どもたちの将来「読み書きができず、手に職をつけられない親の元で育ち、学校での限られた教育しか受けられない子どもたちが大勢いる」とクリステンさん。「学校教育に十分な予算を充てれば事態は好転すると期待する人もいますが、家庭環境を改善しないことには真の変化は見込めません」地元のマーク・ウィルソンさん（グロスポイント・ロータリークラブ会員）は、成人への識字教育に対する配慮が不十分だと指摘し、これこそ長期の悪循環を生む原因だと話します。「読み書きできない子どもには同情が寄せられるのに、大人だとそうはなりません」地元ロータリークラブがもたらした変化そこで、周辺地域のロータリークラブがProLiteracyと提携し、教育指導員を増やすための募金を実施。また、市と協力して約26万冊の図書と587台のパソコンを識字関連団体に寄贈したほか、ロータリーからの補助金でオーストラリアから専門家チーム

を招き、教育指導員を対象とした研修を行いました。さらに、地域社会の認識を向上するためのテレビ番組を始めるために、この補助金が活用されました。その結果、教育指導員から読み書きの指導を受けた成人500名が、テストの結果、3学年分に相当する識字能力を向上できました。このプロジェクトは期待以上の成果を生んでいると、ProLiteracy責任者のマーガレット・ウィリアムソンさん（デトロイト・ロータリークラブ会員）は話します。「私たちは単なる読み書きの力だけでなく、就職のためのスキル向上にも力を入れています。ロータリーのネットワークを通じて働き口を紹介してくれる人もいます」これらの取り組みによって行政も動き出し、地元自治体から職業訓練のための助成金も提供されました。これでさらに多くの教育指導員を生み出し、活動を広げていくことが可能になります。「相乗効果が出ている」と、マーガレットさんは話します。マークさんはこう言います。「身につけた読み書き能力は、一生、その人を支える力となります。この力を一つ一つ、地域社会で育てていきたい。それが私たちの目標です」

★記帳メーキャップ受付。			
8/11(火) 定款休会		8/18(火) ガバナー補佐訪問	8/25(火) ガバナー公式訪問
月/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)
8/5 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	外部卓話 Eクラブ幹事 今柳田幸代様
	鹿児島西	ドルフィン ホール	クラブ協議会
	鹿児島西南	ゆうづき	決算・予算報告 会員増強委員長卓話
8/6 (木)	鹿児島東	サンデイズ イン	クラブフォーラム
	鹿児島北	レゾナントホテル	★暑気払い例会 夜の例会 18:30～
	鹿児島サザンパ ド	鹿児島東急イン	ガバナー公式訪問前のクラブ 協議会、 日高ガバナー補佐訪問
8/7 (金)	鹿児島	ドルフィン ホール	会員卓話
8/10 (月)	鹿児島中央	山形屋	クラブ奉仕フォーラム
8/11 (火)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	クラブフォーラム